

質問者



岡井 馨一郎 議員

**Q** 教育の町の現状と今後の方策について

**A** 松前町教育振興計画を策定します

**問**

昭和39年3月に豊かで明るい郷土を建設し、地域社会の福祉に貢献することは町民ひとしく理想とするところであった。これは教育の推進以外に道はないと断言し、これを行政施策の基準に置いて総力を結集して大松前町の建設の理想を実現することを誓い、教育の町宣言が町内に発表された。それから44年たった。特筆すべき変化があったとは思えない。今までにここが変わったな、良くなったな、その効果がどうであったか、教育の町としてあり続けるのであればどのような方策を打ち出すのか、具体的に示されたい。

**答** 松前町教育振興計画を策定します

永見教育長

昭和39年3月、議会の議決を得て行政施策の基本を教育に置き、豊かで明るい郷土づくりを推進すると町内外に向け教育の町を宣言したものです。

制定後はその理念が歴代の町長に受け継がれ、質の高い教育を推進するためには快適な教育環境が必要ということ、学校教育においては校舎を近代的な校舎に改築され、体育館、プールなどを整備するとともに、社会教育でも地区公民館の設置、近年では松前総合文化センターや松前公園体育館を建設し、今日まで教育のまちづくりに取り組んできました。教育というのはすぐにその成果があらわれるといったものではありません。繰り返し行うこと、また長期に渡っての取り組みの中で成果があらわれるのだと思っています。ただ、周辺の市町村また転入された先生方などから松前町の教育について高い評価をいただいております。教育の町宣言の成果があらわれているのではないかと感じています。今、国においては、教育基本法の改正を初めとしたさまざまな教育改革が行われていま

す。そうした重要な時期ですので本町は今後も変わることなく教育の町を教育指針とするとともに、次代を担う子供たちの健全育成、また町民文化の向上に向け新たに松前町教育振興計画を策定するなど、教育の町を一層確立していきたいと考えます。

**問**

卒業生のお帰り授業の実施について

世の中は先の見えない状態が続いている。教育現場では校内暴力、不登校、いじめ等々、家庭では子供への虐待、子供が大人への暴力等々、日々報道されない日がないほど数多く流れている。中学生になると勉強、仕事等々で悩んだりする不安定な時期だ。この様な時期をうまく切り抜け、成



先人の思いがこもる町づくり

長し、社会で立派に活躍している先輩が町内外に多数いる。その様な体験等々を、語ってもらえる授業を年一か二回くらい実施してはどうかと思うが、考えは。

**答** 機会が持てるよう検討します

橋本学校教育課長

小・中学校の総合学習の時間で地域の卒業生や先輩方、また地域の名人と言われているような人からその技能や生き方を、またお年寄りからは戦争の体験談など、さまざまな授業が実施されています。議員さんが言われているような松前町出身で活躍されている著名な方に、小・中学校時代をどのように過ごし現在に至ったのかといった体験談などを子供たちに聞いてもらうことも大変意義深いものと思っています。

今後そういった方に、授業の一環としてお願いできる機会が持てるよう検討します。